



町の子供は町で育てる

「3つの合言葉」元気・学び・会話

滑川町教育委員会だより

「学んでよかった町へ -チーム滑川での教育-」

「武道家マインドのすすめ」

ある父親が私にこういう話をした。「息子のことが理解できないんです。私の言うことを全然聞こうとしないんですよ」

「今のあなたの話を繰り返してしましよう」と私。「息子さんがあなたの話を聞かないから、あなたは息子さんを理解できないということですね」

「そうです」と彼。

「もう一度言ってみますね。息子さんがあなたの話を聞かないから、あなたは息子さんを理解できないのですね」

「さっきからそう言っているでしょう」彼はいらだった。

「人を理解するには、その話を聞かなければならないものだと思いますが、私はいま言ったように聞いていましたか」と私は言っていました。

「あつ」と彼。

「目からうろこが落ちたようだった。しばらくしてから、」

「ああ、そういうえぼそうですね。でも理解はしているんです。息子が今何を経験しているのか、よくわかってはいるんです。私も昔同じような経験をしましたから。理解できないのは、なぜ、私の言うことを聞こうとしないか、という点なんです」

この人は、息子が何を考えているのか、さっぱり分かっていなかった。彼は自分の中を見つめ、そこに息子の世界があるのまに見えているものだと、勘違いしていただけなのである。

「7つの習慣」ステイブ・R・コヴィー、キング・ペアー出版p354

5月26日(日)、郡民スポーツ大会空手道競技、比企郡空手道選手権大会が滑川町総合体育館で実施されました。選手の皆さんは「形」と「組手」で、すばらしい演武を披露してくれました。

空手道と言えば東京オリンピック銀メダリストの清水希容選手が現役を引退するというニュースがありました。稽古を積み鍛錬を重ねた求道者がスッと立ち、構えたその瞬間にその場の空気が変わり、凜とした雰囲気包まれる。そこに空手をはじめ武道の魅力があります。

武道のもう一つの魅力に「武道家マインド」があると思います。武道家は独りよがりには技を繰り返しているわけではありません。対峙する相手に合わせて自らの心身の動きを工夫することが能力開発の中心になります。(因みに空手道の「形」は単独で演武しますが、相手をありありと想像して演武しないと「技が死ぬ」そうです。)
「相手に自分を合わせる」この武道家マインドは、とても汎用性の高い心の持ち方です。

はじめに人付き合いを考えてみましょう。人付き合いが上手い人には「話し上手より聞き上手」「相手の言葉を否定しない」「年齢や経験にこだわらない」「他責よりも自責で考える」「どんなことから学ぶ姿勢がある」などの特徴があります。これらは全て「相手に自分を合わせる」ということにつながります。武道家マインドは、人付き合いに生かされるものと言えるでしょう。

次に「仕事」について考えてみます。任務遂行能力が高い人は、経験したところのある仕事だけでなく、初めて取り組む仕事もこれまでの知見を生かし、足りないところは自分で調べたり、同僚や先輩に教えてもらいながらやり遂げることができます。「自分に合った仕事に選択的に取り組む」のではなく「仕事に自分を合わせる」ことができます。仕事ができる人とは「その仕事を通して、これまでとは違う自分をつくっていける人」ということになります。

最後に「学ぶ」ということについて考えてみます。「学ぶ」という行為は、これまで知らなかった知識やできなかった技能を自分のものにすることです。「未知」が対象なのでから困難が伴います。トライ(挑戦)とエラー(失敗)エラーコントロール(間違い直し)を何度も何度も繰り返す必要があります。学ぶべき対象を研究し試行錯誤しながら理解するという事です。「学ぶ」ことも「相手に合わせる」ことに他なりません。そして、学ぶことを通してこれまでとは違う別の自分をつくるのです。

いかがでしょう。「武道家マインド」は非常に汎用性の高い心の持ち方であることをお分かりいただけたでしょうか。人が成長するためには「武道家マインド」がとても大切ですね。

6月のおはなし会

図書館では、毎月おはなし会を実施しています。本の読み聞かせや紙芝居、手遊びをとおして本の楽しさ、面白さを一緒に感じましょう。皆さんの御参加をお待ちしております。

6月12日(水)11時00分～
対象 0才～2才向け
場所 1階おはなし会コーナー

6月15日(土)10時30分～
対象 3才以上向け
場所 1階おはなし会コーナー



学習用タブレットPCで電子書籍が見られるようになります！

令和6年6月1日から小学校と中学校で配付されている学習用タブレットPCで比企eライブラリの電子書籍が読めるようになります。物語、ノンフィクション、調べ物、図鑑など色々な本があります。また、電子書籍ならではの文字の拡大機能や音声読み上げ機能など便利な機能もあります。紙の本、電子の本、自分にあったスタイルを見つけて読書を楽しみましょう。

※学習用タブレットPCで電子書籍が使える時期や方法は学校や学年によって異なります。



沿イベントを開催
しました！

竹であそぼう！

5月19日(日)に森林公園内にて、福田小学校を対象にしたイベント「竹であそぼう！」を開催しました。3回目の開催となる今年は、1年生から3年生は保護者同伴で、4年生から6年生は児童のみでの参加で、合計21名の参加がありました。イベントでは、公園内に群生する竹を窯や食器、ハンとして使用する竹ごはんづくりを行いました。ごはんには、各自ふりかけやごま塩をトッピングしたり、みそ汁を合わせてみたり、マシュマロを焼いてみたりと様々な工夫をしました。エコミュージアムセンター職員が主体となり、森林公園スタッフ、福田小学校の先生と保護者の御協力の下、火の管理や刃物の取り扱い等安全管理に十分気をつけながら、自然の中でみんなで美味しくごはんを食べました。

